

高知県感染症発生動向調査（月報）

2025年9月

高知県感染症情報センター
高知県衛生環境研究所
TEL:088-821-4961 FAX:088-821-4696

全国情報

第36週(9月1日～)から第39週(～9月28日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における上位6疾患の合計は69.85で8月の66.99と比べて横ばいだった。

新型コロナウイルス感染症について、全国と高知県の定点報告数を図1に示す。2025年は第24週以降に増加し、夏の流行は5年連続となった。34週の8.73をピークに減少に転じた。2024年12月～1月の流行と2025年7～8月の流行は同程度の流行規模となり、昨年までよりも小さくなった。

1位は新型コロナウイルス感染症で29.35(8月1位29.53)、2位は感染性胃腸炎で17.04(同2位15.46)とともに横ばいだった。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で6.57(同4位5.63)、4位はRSウイルス感染症で6.46(同8位3.54)といずれも増加した。5位は伝染性紅斑で5.97(同3位7.33)と減少した。6位はマイコプラズマ肺炎で4.46(同6位4.42)と横ばいだった。急性呼吸器感染症は221.50で8月の183.95と比べて増加した。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	36週	37週	38週	39週	計
1	新型コロナウイルス感染症	8.12	8.43	6.93	5.87	29.35
2	感染性胃腸炎	4.66	4.81	3.90	3.67	17.04
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.75	1.88	1.45	1.49	6.57
4	RSウイルス感染症	1.66	1.65	1.64	1.51	6.46
5	伝染性紅斑	1.84	1.68	1.23	1.22	5.97
6	マイコプラズマ肺炎	0.97	1.10	1.11	1.28	4.46
	急性呼吸器感染症	53.92	59.83	53.05	54.70	221.50

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）。上位6疾患の県内における報告数の合計は62.77で8月の65.49と比べて横ばいで全国よりも少なかった（表2）。

1位は新型コロナウイルス感染症で36.11(8月1位37.03)と横ばいで全国よりも多かった。2位はRSウイルス感染症で8.65(同5位4.90)と増加し全国よりも多かった。3位は感染性胃腸炎で6.75(同2位9.00)と減少し全国よりも少なかった。4位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で4.25(同8位3.60)と増加したが全国よりも少なかった。5位はマイコプラズマ肺炎で3.76(同4位5.01)と減少し全国よりも少なかった。6位はヘルパンギーナで3.25(同3位5.80)と減少し全国と同等だった。急性呼吸器感染症は167.12で8月の163.53で8月と比べて横ばいで全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	36週	37週	38週	39週	計
1	新型コロナウイルス感染症	11.29	9.45	7.74	7.63	36.11
2	RSウイルス感染症	2.05	3.05	2.05	1.50	8.65
3	感染性胃腸炎	1.55	1.95	1.55	1.70	6.75
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.05	1.40	0.60	1.20	4.25
5	マイコプラズマ肺炎	1.25	0.50	0.63	1.38	3.76
6	ヘルパンギーナ	1.15	1.00	0.55	0.55	3.25
	急性呼吸器感染症	44.39	42.89	40.45	39.39	167.12

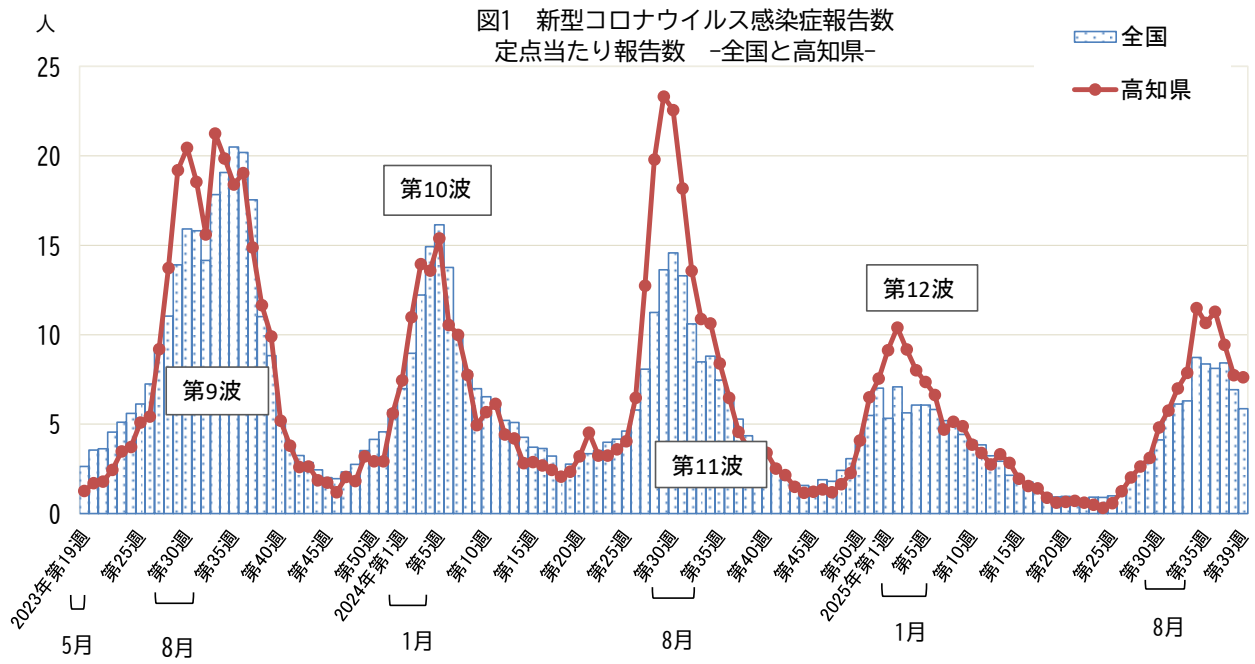
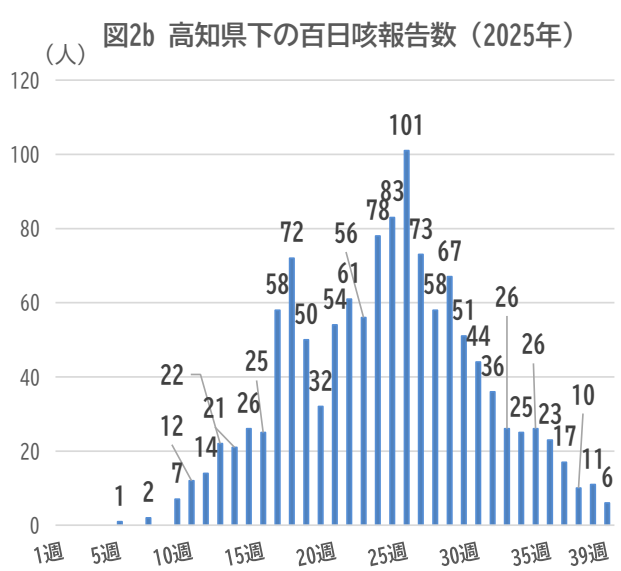
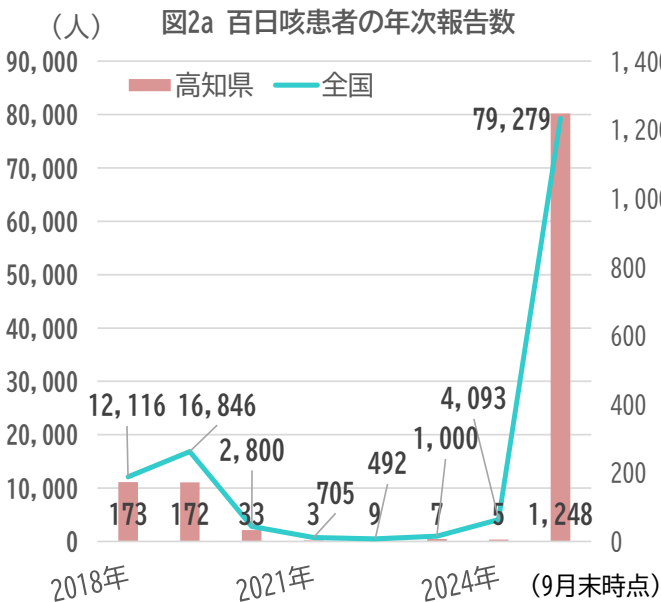


表3 2025年 高知県で検出された新型コロナウイルスの変異株

月	オミكرون株															総計
	KP. 3	LP. 8	MC. 1	MC. 28	NB. 1	NB. 1. 8. 1	PQ. 2	PQ. 17	XEC	XEC. 2	XEC. 4	XEC. 5	XEC. 8	XEK	XEC. 6	
1	5			1					3	7	1	1		1		19
2	1		2						2	5	3		1			14
3		1	1							8	2		1			13
4			2		1				2	2	2					9
5													1			1
6																0
7							6	1			1				1	9
8							4	1	1							6
9																0

直近3か月 ウイルス検出数	KP. 3	LP. 8	MC. 1	MC. 28	NB. 1	NB. 1. 8. 1	PQ. 2	PQ. 17	XEC	XEC. 2	XEC. 4	XEC. 5	XEC. 8	XEK	XEC. 6	総計
						10	2	1			1				1	15
%						66.7	13.3	6.7			6.7				6.7	100.0



2. 全体の傾向

麻疹、風しんの報告無し。

令和7年9月26日に世界保健機関は、日本において風しんは排除 (Elimination) の状態にあることを認定した。適切なサーベイランス制度の下、土着株による風しん発症が3年間確認されないこと、または遺伝子型の解析によりそのことが示唆されることがその根拠となっている。日本では「風しんの排除を達成する」ことを目標とし、2019年度から風しんの追加的対策を実施するなど、風しん排除に向けた取組を進めてきたが、その成果をついに勝ち取ることができた。今後も維持するために、風しんワクチンの高い接種率をキープすることが必要である。

一方、麻疹に関して、全国では第38週までに228名が報告されている (<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-38.pdf>)。都道府県別では、神奈川県40名、東京都30名、茨城県と千葉県が22名、福岡県21名、大阪府17名、兵庫県13名、愛知県10名と続き、31の都道府県から報告がみられる。直近では福岡県での増加が著しい。四国でも香川県3名、徳島県1名が報告されている。患者は20～40歳代が主で63%を占め、「麻疹は成人の感染症」という認識が必要であるが、乳児が9%、1～4歳も8%を占めている。海外で感染を受けた者 (輸入感染例) が73名で、その内訳はベトナムが最多で55名、タイ3名、フィリピンとモンゴルが各2名で、ヨーロッパでの感染も散見される。感染予防には、麻疹含有ワクチンを2回受けることが重要である。

2月から県下で百日咳の発生届が増加し、第39週までに1,248件が報告された。6月後半以降は減少傾向に転じている。全数報告が開始された2018年以降で、本年が最大の報告数となった (図2a, 図2b)。全国各地でマクロライド系抗菌薬耐性の百日咳菌の報告が相次ぎ、高知県の調査では、2025年4月～6月に採取された百日咳患者の60検体のうち17検体(28%)が、マクロライド耐性百日咳菌であった。県外で死亡例や人工呼吸管理を要する乳児期早期例が報告されているが、県下でもネーザルハイフローによる呼吸補助を要する乳児例が複数報告されている。

3. 主な疾患の発生状況

1) 急性呼吸器感染症

報告数 6,351名 (8月 6,214名)。2025年4月7日からサーベイランスが開始された。報告数は8月に比べて横ばいで、高知市、中央西、中央東、幡多、須崎、安芸の順に多く報告された。提出された25件の検体のうち36.0%からウイルスが検出された。その内訳は、Influenza virus AH3 NTが5件、Rhinovirusが4件、Influenza virus A not subtypedとAdenovirus NTが各2件、Adenovirus 1とParainfluenza virus 2がそれぞれ1件ずつ検出された。

2) インフルエンザ

報告数 89名 (8月 137名)。2024/25シーズンは、12月に始まる二峰性の流行 (第2週と第16週にピーク) だった。2025年は6月に流行はほぼ収束していたが7月80名～8月137名と増加し、9月は89名と減少に転じた。須崎、高知市、中央西＝幡多、中央東、安芸の順に多く報告された。7月以降に、AH3 NTが7件、A not subtypedが4件、AH1 pdm09が3件検出された (すべて急性呼吸器感染症として提出)。

第39週 (9月22日～9月28日) の感染症発生動向調査で、インフルエンザの定点当たり報告数が全国で1.04となった。目安としている1.00を上回ったことから、厚労省は10月3日にインフルエンザが流行シーズンに入ったと発表した。

3) 新型コロナウイルス感染症

報告数 1,372名 (8月 1,407名)。図1に2023年5月以降の定点報告数を示す。波の高さは減衰しているが、年末年始と夏に流行する傾向は変わらない。県下全域から報告があり、中央西、高知市、須崎、幡多、中央東、安芸の順に多かった。2025年に県下で採取されたウイルス株の解析結果を表3に示す。7～8月には、NB.1.8.1が最多で10件、PQ.2が2件、PQ.17、XEC.4、XEC.6が各1件検出された。

4) 咽頭結膜熱

報告数 16名 (8月 18名)。2023年10月～2024年3月は、同時期として過去10年間で最多が続いたが、2024年5月以降は平年並である。中央東、幡多、高知市、須崎から報告された。咽頭結膜熱の患者からアデノウイルスは検出されていないが、急性呼吸器感染症の患者から Adenovirus NTが2件、1型が1件検出された。

5) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 85名 (8月 72名)。2024年は過去10年間で最多だったが、2025年は平年並で推移している。安芸以外から報告され高知市と幡多が特に多かった。Streptococcus pyogenes Untypableが1件検出された。

6) 感染性胃腸炎

報告数 135名（8月 180名）。2020年以降は少ない数で推移していた。2025年3月に増加がみられたが、4月以降は平年並である。県下全域から報告があり、幡多と高知市が特に多かった。病原体は検出されていない。

7) 水痘

報告数 23名（8月 11名）。ワクチン定期化の効果で少ない数で推移しているが、稀少な感染症となったわけではない。中央東、幡多、高知市、須崎から報告があった。

8) 手足口病

報告数 42名（8月 72名）。2024年は4月に始まる、二峰性流行（流行株はCoxsackievirus A6、A10とA16の3種類）となり、過去10年間で最大規模だった。2025年は5月に流行が始まり、7月の93名をピークに減少に転じた。高知市、須崎、中央西、中央東から表記の順に多く報告された。起因ウイルスであるCoxsackievirusは検出されていない。

9) 伝染性紅斑

報告数 52名（8月 75名）。2024年10月から増加し、2025年1月～6月は過去10年間で同時期として最多だった。安芸以外から報告があった。human parvovirus B19は、重症貧血を起こし、妊婦に感染すると胎児水腫および流産の原因となることに注意する。伝染性紅斑と診断された者から同ウイルスが2月～9月に計25件検出されている。

10) 突発性発疹

報告数 16名（8月 26名）。想定内の変動である。

11) ヘルパンギーナ

報告数 65名（8月 116名）。2022年は過去10年間で最小、翌2023年は最大の流行であった。2024年は5月から流行が始まり6月をピークとする標準的な規模で、原因ウイルスが不明だった。2025年は5月9名、6月98名、7月488名をピークに、8月は減少に転じた。県下全域で報告があり、須崎、幡多、高知市が特に多かった。今季の流行株はCoxsackievirus A4で、6～8月に計10件検出されている。9月はCoxsackievirus A10が1件検出されている。

12) 流行性耳下腺炎

報告数 1名（8月 2名）。2020年5月以降は一桁の報告数で推移している。中央東で1名が報告された。

13) RSウイルス感染症

報告数 173名（8月 98名）。2021年から4年連続で夏に流行した。2025年は1月に増えはじめ、3～4月は同時期として過去10年間で最多となり、3月をピークに減少していたが、7月に再び増加に転じ、二峰性の流行になった。県下全域から報告があり、須崎、高知市、中央東、中央西、幡多、安芸の順に多かった。ウイルスは検出されていない。

RSウイルス感染症は全ての子どもが2歳までに罹り、年少児ほど重症で入院のリスクが高い。須崎市では6月から、この疾患を予防するモノクローナル抗体（ニルセビマブ）の健常乳児への投与を公費負担する取り組みを開始した。本邦では初めての試みであり、その効果に期待と注目が集まっている。

14) 流行性角結膜炎

報告数 0名（8月 4名）。2019年以降は一桁の報告数で推移している。

15) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（8月 1名）。2017年以降は年間一桁の報告数で推移しており、2024年は11名に達したが、本年は累計3名である。

16) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（8月 1名）。従来は年間20～30名台の報告数で推移していたが、2017年以降は一桁の数で推移している。

17) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 30名（8月 40名）。2024年は過去10年間で最大の流行となり、10月をピークに減少に転じたが報告は続いている。高知市、中央東、幡多から表記の順に多く報告された。

基幹定点の月報疾患

18) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 25名 (8月 19名)。高知市、安芸、幡多から表記の順に多く報告された。

19) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 1名 (8月 0名)。高知市から70歳以上の高齢者が1名報告された。2015年以降は、年間0～2名の報告にとどまっていたが、本年はすでに累計4名となっている。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

【参考】

全数報告

年別全数報告数 (令和7年9月)

類型	病名	報告年																
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
2	結核	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	42	
	計	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	42	
3	コレラ	1																
	細菌性赤痢							2										
	腸管出血性大腸菌感染症	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	7	5	7	
	腸チフス						1				1							
	パラチフス																	
	計	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	7	5	7	
4	A型肝炎	3					3	1			2					1	1	
	E型肝炎	1		1							2	1		1				
	オウム病								1									
	Q熱																	
	サル痘														1			
	重症熱性血小板減少症候群				3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	10	10	14	
	つつが虫病	2	5	8	3	3		4	11	2	3	3	1	5	11	3		
	デング熱	1			3	2	1				2							
	日本紅斑熱	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	16	9	19	
	日本脳炎	1																
	マラリア		1								1				1	1		
	レジオネラ症	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8	7	8	8	
	レプトスピラ症		4	2	1				1						1			
	計	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	47	32	42	
5	アメーバ赤痢	2	2	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1	1		
	ウイルス性肝炎	3		3		1			2	1	1	2	2	2	1		2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					7	19	21	22	21	20	10	5	12	9	11	11	
	急性弛緩性麻痺									1	2				1	2		
	急性脳炎	1	3	1		1	1	1	1		2	1	1	2			1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3				2			2	1	1	3		1	1			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	3		1		3	5	6	2	2	5	4	1	6	2	
	後天性免疫不全症候群	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6		6	2	4	2	
	ジアルジア症		1	1							1						2	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	5	3	4	7	3	1	1	3	7	9	7	
	侵襲性肺炎球菌感染症				1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	12	18	13	
	侵襲性髄膜炎菌感染症						2	1	1	3		3	3	3	1		1	
	水痘 (入院例に限る)						2	1	1	3		3	3	3	1		5	
	梅毒	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	62	40	26	
	播種性クリプトコックス症							1	3	5				4	3	1		
	破傷風	1	1	1		4	3	3	1		2	3	1	3	1	1		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1		1	1								
	百日咳										173	172	35	3	9	7	4	1,409
	風しん			4	9	1					3							
麻しん																		
	計	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	112	130	114	110	97	1,481	
動物	鳥インフルエンザ		1															
	計		1															
	総計	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	214	224	224	217	196	1,572	

類型	病名	報告月									総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2	結核	4	4	7	1	2	6	10	5	3	42
3	腸管出血性大腸菌感染症		1	1			1	2	1	1	7
4	A型肝炎			1							1
	重症熱性血小板減少症候群				1	5	5	3			14
	日本紅斑熱					11	3	2	2	1	19
	レジオネラ症	1		1		1	1	1	1	2	8
5	ウイルス性肝炎		1	1							2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		1				1	4	4	1	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1		1						2
	急性脳炎							1			1
	後天性免疫不全症候群				1	1					2
	ジアルジア症								1	1	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	1		2	1	2			7
	侵襲性髄膜炎菌感染症					1					1
	侵襲性肺炎球菌感染症	4		2	1		1	2	1	2	13
	水痘（入院例に限る）	1		1		1		1		1	5
	梅毒	4	7	2	3	4	2	1	1	2	26
	百日咳	1	8	62	164	267	317	275	100	52	1,246
総計		15	24	79	172	295	338	304	116	66	1,409

高知県感染症情報 月報（55定点医療機関）

2025年

9月

定点名	保健所 疾病名	2025年						9月		
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症 (ARI)	249	933	3,293	730	385	761	6,351	6,214	
	インフルエンザ	3	11	32	8	21	14	89	137	46
	新型コロナウイルス感染症	70	201	486	216	147	252	1,372	1,407	811
小児科	咽頭結膜熱		7	4		1	4	16	18	24
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	60	3	2	17	85	72	146
	感染性胃腸炎	1	8	82	1	9	34	135	180	192
	水痘		10	8		1	4	23	11	16
	手足口病		4	27	5	6		42	72	536
	伝染性紅斑		8	24	5	4	11	52	75	1
	突発性発疹		1	10		5		16	26	26
	ヘルパンギーナ	2	9	27	2	12	13	65	116	51
	流行性耳下腺炎		1					1	2	1
	RSウイルス感染症	1	36	87	10	30	9	173	98	110
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎								4	
STD	性器クラミジア感染症			5				5	2	8
	性器ヘルペスウイルス感染症		1				1	2	2	
	尖圭コンジローマ									2
	淋菌感染症		1					1		3
基幹	細菌性髄膜炎								1	
	無菌性髄膜炎								1	
	マイコプラズマ肺炎		3	25			2	30	40	40
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)		1					1		
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2		22			1	25	19	25
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1				1		
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計(ARIを除く)		79	305	900	250	238	362	2,134	2,283	2,038
前月		104	369	1,007	296	196	311			
前年同月		86	378	738	164	245	427			
小児科定点数		1	4	8	2	2	3			

高知県感染症情報 月報 (55定点医療機関)

2025年

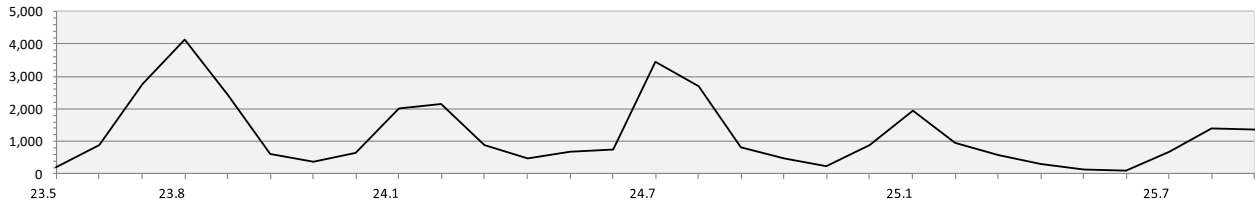
9月

定点当たりの人数

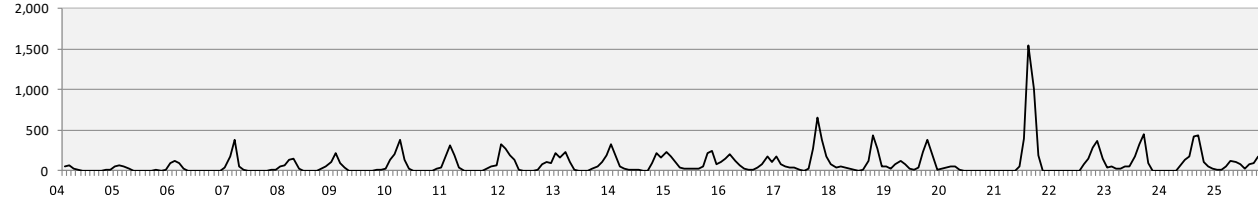
定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症 (ARI)	83.00	133.28	253.30	182.50	96.25	108.72	167.12	163.53	
	インフルエンザ	0.99	1.57	2.47	2.00	5.25	2.00	2.35	3.61	1.05
	新型コロナウイルス感染症	23.34	28.71	37.39	54.00	36.75	36.00	36.11	37.03	18.43
小児科	咽頭結膜熱		1.75	0.51		0.50	1.33	0.80	0.90	0.96
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.75	7.50	1.50	1.00	5.66	4.25	3.60	5.84
	感染性胃腸炎	1.00	2.00	10.26	0.50	4.50	11.33	6.75	9.00	7.68
	水痘		2.50	1.01		0.50	1.33	1.15	0.55	0.64
	手足口病		1.00	3.38	2.50	3.00		2.10	3.60	21.44
	伝染性紅斑		2.00	3.00	2.50	2.00	3.67	2.60	3.75	0.04
	突発性発疹		0.25	1.27		2.50		0.80	1.30	1.04
	ヘルパンギーナ	2.00	2.25	3.39	1.00	6.00	4.33	3.25	5.80	2.04
	流行性耳下腺炎		0.25					0.05	0.10	0.04
	RSウイルス感染症	1.00	9.00	10.89	5.00	15.00	3.00	8.65	4.90	4.40
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎								1.33	
STD	性器クラミジア感染症			2.50				0.83	0.33	1.33
	性器ヘルペスウイルス感染症		0.50				0.50	0.33	0.33	
	尖圭コンジローマ									0.33
	淋菌感染症		0.50					0.17		0.50
基幹	細菌性髄膜炎								0.13	
	無菌性髄膜炎								0.13	
	マイコプラズマ肺炎		3.00	5.00			2.00	3.76	5.01	5.01
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)		1.00					0.13		
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.00		4.40			1.00	3.13	2.38	3.13
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			0.20				0.13		
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		28.33	52.03	81.07	69.00	77.00	68.65	68.86	74.14	63.60
前月		39.67	59.99	91.32	86.00	58.25	67.54			
前年同月		29.50	50.35	66.89	54.00	95.00	80.64			

注目される疾患の月別推移

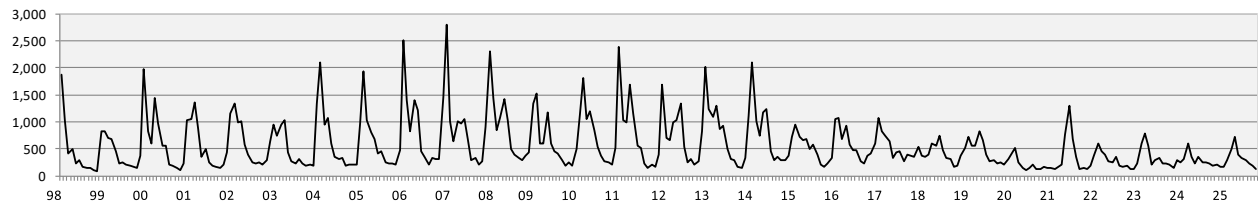
新型コロナウイルス感染症



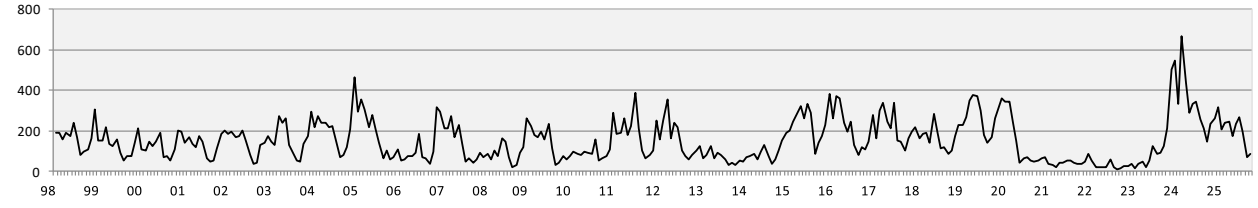
RSウイルス感染症



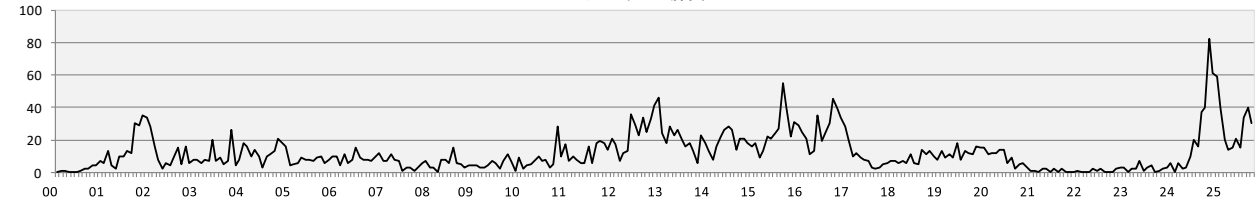
感染性胃腸炎



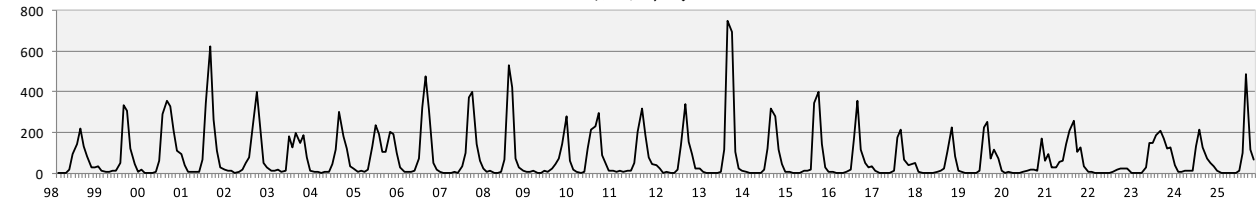
A群溶血性レンサ球菌感染症



マイコプラズマ肺炎



ヘルパンギーナ



高知県感染症情報（月報）
2025年9月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

令和7年9月はウイルス50件、細菌1件の搬入があり、そのうち ウイルス45件、細菌1件の病原体を検出し、6月から8月に搬入された検体からウイルス20件が検出された。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus1 1件、Adenovirus NT 2件、Coxsackievirus A10 1件、Cytomegalovirus 3件、Echovirus 9 3件、Echovirus 18 3件、Epstein-Barr virus 2件、Herpes simplex virus 1 2件、Human herpes virus 6 1件、Human herpes virus 7 3件、human parvovirus B19 3件、Influenza virus A H3 NT 5件、Influenza virus A NT 2件、Parainfluenza virus 2 1件、Rhinovirus 14件、SARS-CoV-2 19 件、細菌の内訳は、*Streptococcus pyogenes* Untypable 1件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

N	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取	ウイルス、細菌の検出
1	3	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽,	鼻汁	6/10	SARS-CoV-2(解析不能)
2	1	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽,	鼻汁	6/10	SARS-CoV-2(解析不能)
3	5	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	40℃, 咳嗽,	ぬぐい液	7/2	SARS-CoV-2(BA. 2)
4	85	女	急性呼吸器感染症（COVID19）	咳嗽,	唾液	7/8	SARS-CoV-2(BA. 2)
5	4	女	急性呼吸器感染症（COVID19）	40℃,	唾液	7/12	SARS-CoV-2(BA. 2)
6	12	女	急性呼吸器感染症（COVID19）	39℃,	唾液	7/15	SARS-CoV-2(BA. 2)
7	0か月	女	急性呼吸器感染症（COVID19）	38℃,	鼻咽頭ぬぐい液	7/25	SARS-CoV-2(BA. 2)
8	12	女	急性呼吸器感染症（COVID19）	咳嗽,	唾液	7/28	SARS-CoV-2(解析不能)
9	78	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	38℃, 咳嗽,	唾液	7/28	SARS-CoV-2(BA. 2)
10	65	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	38℃, 咳嗽,	唾液	7/28	SARS-CoV-2(BA. 2)
11	68	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃,	唾液	7/30	SARS-CoV-2(解析不能)
12	6	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	38℃, 咳嗽,	唾液	7/31	SARS-CoV-2(BA. 2)
13	81	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	38℃, 咳嗽,	唾液	8/1	SARS-CoV-2(BA. 2)
14	76	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	38℃,	唾液	8/4	SARS-CoV-2(BA. 2)
15	67	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	38℃, 咳嗽,	唾液	8/12	SARS-CoV-2(BA. 2)
16	13	女	急性呼吸器感染症（COVID19）	38℃,	ぬぐい液	8/14	SARS-CoV-2(BA. 2)
17	4	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	38℃, 咳嗽,	ぬぐい液	8/14	Influenza virus A H3 NT
18	6か月	女	—	嘔吐,	ふん便	8/14	Echovirus 18
19	13	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	39℃,	ぬぐい液	8/18	SARS-CoV-2(BA. 2)
20	4	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	38℃,	ぬぐい液	8/21	Influenza virus A H3 NT
21	4	女	急性呼吸器感染症（COVID19）	39℃,	ぬぐい液	8/22	SARS-CoV-2(BA. 2)
22	2か月	男	—	39℃,	髄液	8/24	Echovirus 9
23	3	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	8/25	Rhinovirus
24	4か月	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	40℃, 咳嗽,	ぬぐい液	8/25	SARS-CoV-2(BA. 2)
25	4	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃, 咳嗽,	ぬぐい液	8/25	Adenovirus NT Influenza virus A H3 NT Rhinovirus
26	7か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽,	鼻汁	8/27	Parainfluenza virus 2
27	7か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽,	鼻汁	8/27	Rhinovirus
28	4	男	流行性耳下膜炎		ぬぐい液	8/30	Rhinovirus
29	5	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	9/1	Human herpes virus 7
30	4	男	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	9/1	human parvovirus B19 Epstein-Barr virus Human herpes virus 7
31	3	女	—	発疹,	ぬぐい液	9/1	Epstein-Barr virus
32	3	女	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	9/1	Rhinovirus
33	4	女	伝染性紅斑、COVID19	発疹,	ぬぐい液	9/2	Echovirus 9
34	1	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽,	ぬぐい液	9/2	Adenovirus 1 Influenza virus A NT
35	1	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽,	鼻汁	9/2	Adenovirus NT Rhinovirus
36	5	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	38℃, 関節痛,	ぬぐい液	9/3	Influenza virus A H3 NT
37	10か月	男	—	発疹,	ぬぐい液	9/5	Echovirus 18
38	1	女	—	発疹,	ぬぐい液	9/8	Echovirus 9 Rhinovirus
39	18	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	38℃, 咳嗽,	ぬぐい液	9/8	Influenza virus A H3 NT
40	4	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃, 発疹,	ぬぐい液	9/8	<i>Streptococcus pyogenes</i> Untypable

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
41	10か月	男	—	発疹,	ぬぐい液	9/9	Echovirus 18
42	4	男	ヘルパンギーナ	39℃, 口内炎,	ぬぐい液	9/9	Coxsackievirus A10
43	5	女	手足口病	口内炎,	ぬぐい液	9/12	Rhinovirus
44	6	女	—	39℃, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	9/16	Cytomegalovirus Herpes simplex virus 1 Human herpes virus 7 Rhinovirus
45	1	女	—	39℃, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	9/16	Herpes simplex virus 1 Rhinovirus
46	1	女	手足口病	39℃, 発疹,	ぬぐい液	9/16	Cytomegalovirus Human herpes virus 6 Rhinovirus
47	3	女	—		ぬぐい液	9/17	human parvovirus B19 Cytomegalovirus Rhinovirus
48	11か月	男	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ)	40℃, 嘔吐, 咳嗽,	ぬぐい液	9/20	Influenza virus A NT Rhinovirus
49	4	女	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	9/22	human parvovirus B19 Rhinovirus

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2025年									2025年総計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
A群溶血性レンサ球菌咽頭	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1			2	1							3
	<i>Streptococcus pyogenes</i> Untypable										1	1
	Rhinovirus							1				1
	計			2	1			1		1		5
RSウイルス感染症	Adenovirus 1								1			1
	Adenovirus 2					1						1
	Parainfluenza virus 3						1		1			2
	Respiratory syncytial virus A					4						4
	Respiratory syncytial virus B					2	3	1	4			10
	Rhinovirus					1	2					3
計					8	6	1	6			21	
咽頭結膜熱	Adenovirus 2					1						1
	Adenovirus 5			1			1					2
	Adenovirus C						1					1
	Human herpes virus 6								1			1
	Parainfluenza virus 3						1					1
	Rhinovirus		1				1	1				3
計		1	1		1	4	1	1			9	
インフルエンザ	Epstein-Barr virus			1								1
	Influenza virus A H1pdm09	15	2									17
	Influenza virus A NT	1										1
	Influenza virus A H3 NT	3	2	1								6
	Influenza virus B/Victoria		2	2	1							5
	Rhinovirus									1		1
計	19	6	4	1					1		31	
感染性胃腸炎	Adenovirus 2		1		1							2
	Adenovirus 41				1	1						2
	Astrovirus NT			1								1
	Norovirus GII NT		2	7	7							16
	Rhinovirus				1							1
	Rotavirus group A G1						1					1
	Rotavirus group A G3						1					1
	Rotavirus group A G8		1		1	1						3
	Rotavirus group A NT					1						1
	Sapovirus genogroup unknown			1	2	2						5
計		4	9	13	6	1					33	

臨床診断名	病原微生物	2025年									2025年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
新型コロナウイルス感染症	SARS-CoV-2	22	21	12	4						59
	計	22	21	12	4						59
水痘	Human herpes virus 7					1					1
	human parvovirus B19						1				1
	Rhinovirus								1		1
	Varicella-zoster virus	1				2	1				4
計	1				3	2		1		7	
手足口病	Coxsackievirus A4								2		2
	Cytomegalovirus								2	1	3
	Echovirus 9								1		1
	Echovirus 18							2			2
	Enterovirus71	1	1					1	2		5
	Epstein-Barr virus	1					1		2		4
	Human herpes virus 6		1						1	1	3
	Human herpes virus 7							2	2	1	5
	human parvovirus B19									1	1
	Parainfluenza virus 1							1			1
	Parainfluenza virus 3							1			1
	Rhinovirus		1					1	1	5	2
計	2	3					4	6	18	5	
伝染性紅斑	Adenovirus 2					1					1
	Adenovirus 41				1						1
	Adenovirus 54					1					1
	Adenovirus C								1		1
	Echovirus 18								1		1
	Epstein-Barr virus					1				1	2
	Human herpes virus 6		1			1					2
	Human herpes virus 7		1		7	3	3		1	1	16
	Human metapneumovirus			1							1
	human parvovirus B19		1	2	8	6	5		1	2	25
	Rhinovirus										2
計		3	3	16	13	8		4	6	53	
突発性発疹	Echovirus 18							1			1
	Human herpes virus 6	1	1					1	1		4
	計	1	1					2	1		5
ヘルパンギーナ	Coxsackievirus A4							1	5	4	10
	Coxsackievirus A10									1	1
	human parvovirus B19									1	1
	Parainfluenza virus 2									1	1
	Parainfluenza virus 3								1		1
	Rhinovirus				1				1		2
計				1			1	7	6	1	
流行性耳下腺炎	Rhinovirus									1	1
	計									1	1
その他	Adenovirus 1					1	1				2
	Adenovirus 2		1		1					1	3
	Adenovirus C							1			1
	Coxsackievirus A4								1	1	2
	Cytomegalovirus		1	1	1					1	2
	Echovirus 9										3
	Echovirus 18		1					2	3	3	9
	Epstein-Barr virus			2	1	1	1	2	1	1	9
	Herpes simplex virus 1										2
	Human herpes virus 6		1	2	3	2	2	1			11
	Human herpes virus 7				2	3	3	2	3	1	14
	Human metapneumovirus		2								2
	human parvovirus B19	1		2	1	3			3	1	11
	Norovirus GII NT		1	1	2	1					5
	Parainfluenza virus NT					2					2
	Parainfluenza virus 1								1		1
	Parainfluenza virus 3							1	1		2
	Respiratory syncytial virus B	1									1
	Rhinovirus	1	2	1	2	2	3	5	2	4	22
	Sapovirus genogroup unknown				1					1	2
Varicella-zoster virus				1					1	2	
Escherichia coli astA, aggR (+)	1									1	
計	4	9	9	15	15	12	15	17	17	113	
総計	49	48	40	51	46	38	33	56	31	392	

臨床診断名	病原微生物	2025年						2025年 総計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
急性呼吸器感染症	Adenovirus NT	1	1	1			2	5
	Adenovirus C			4				4
	Adenovirus 1		1			1	1	3
	Adenovirus 2		3	2	1			6
	Coxsackievirus A4			1		1		2
	Echovirus 18		1					1
	Enterovirus NT			1				1
	Human metapneumovirus	3	1					4
	Influenza virus A H1pdm09				2	1		3
	Influenza virus A H3 NT					2	5	7
	Influenza virus A not subtyped				1	1	2	4
	Influenza virus B/Victoria	6	1	3				10
	Parainfluenza virus 1				1			1
	Parainfluenza virus 2				2		1	3
	Parainfluenza virus 3		10	14	12	1		37
	Parainfluenza virus 4		1		1	1		3
	Respiratory syncytial virus	1						1
	Respiratory syncytial virus A		1	1	1			3
	Respiratory syncytial virus B	3	2	3		1		9
	Rhinovirus	14	11	8	6	6	4	49
SARS-CoV-2	20	3	2	2	15		42	
	検査検体数	28	28	27	22	26	25	156
	検出検体数	27	24	25	21	25	9	131
	検出率 (%)	96.4	85.7	92.6	95.5	96.2	36.0	84.0

1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上しています。